

## 2010年 年頭ごあいさつ

### 鈴木敏文 セブン&アイ・ホールディングス 会長兼CEO(最高経営責任者)

国内の景気は一昨年のリーマンショック以来、依然として厳しい状況が続いています。消費飽和、デフレ状況が続く中、経済の先行き不安から、お客様の消費心理は急速に冷え込んでいます。このため、ともすれば「安さ」に目を奪われがちですが、ほんとうにお客様が求めている商品・サービスは、「新しさ」と従来以上の「品質」です。この「新しさ」や「品質」は、従来と同じ発想、同じ行動からは生まれません。私たち一人ひとりが過去の行動パターンを捨て去り、新しいことに挑戦しなければなりません。2010年の方針は「挑戦」です。社員一人ひとりが、お客様を見つめ、目標を立て、新しいことに挑戦していただきたいと思います。

【主要各社の「挑戦」】

**セブン イレブン**：コンビニエンスストアは、いま転換期を迎えています。高齢化社会が進展する一方、身近な小売店舗が減少し続ける中で、より地域や日常生活に密着した商品・サービス提供の機能が求められています。セブン イレブンは、PBの充実など、新たな商品戦略を通じて「新しい時代のコンビニ」を創造し、これまで以上にお客様のご利用頻度アップを図っていきます。

**イトーヨーカ堂**：総合スーパーは、市場の変化に大きく立ち遅れています。新たな成長力を生み出すため、行動・組織・経営のすべてをゼロベースから再構築していきます。とりわけ衣料部門は、過去の成功体験を断ち、「新しい価値」の創出に挑戦していきます。

**ヨークベニマル**：デフレ傾向が続き、既存店舗の売上・利益成長が厳しさを増す中、コスト構造の転換によってスーパーストア事業の利益成長力確保に挑戦していきます。

**そごう・西武**：百貨店業態は各社とも同質化傾向に陥っており、お客様は新しい魅力を見出せなくなっています。このため、そごう・西武は他の百貨店にはない独自の魅力づくりにまい進し、新しい百貨店の価値創造に挑戦します。

**セブン&アイ・フードシステムズ**：本部機構の抜本的な見直しとともに、現場から経営体制の再構築を断行します。さらに現在のお客様ニーズに合わせた新たな商品・サービスの創造に力を注ぎ、2010年度黒字化に向けて再起動を図ります。

**セブン銀行**：これまでの利益成長に満足することなく、既存のサービスインフラを活用してよりいっそうお客様の日常に密着したサービスを追求しています。小口貸出など新事業にも積極的に取り組み、一層の利益成長性向上に挑戦していきます。

**グループシナジー**：時代の変化に合わせた「新しさ」と「品質」の実現に向け、グループ力を活かした「グローバルマーチャンダイジング」の推進、リアル店舗網とインターネットの融合によるITサービス事業の創出など、グループシナジーをいっそう強化していきます。

目標を実現するため各社のリーダーは率先して方針を示し、社員の皆さん一人ひとりが直ちに行動を変えてください。全員で新しいことに挑戦し、2010年を新たな成長への出発点としましょう。

(2010年1月4日 年頭朝礼あいさつ要旨)